

1975年(昭和50年)卒業 第64期生

昭和 46 年 4 月、我らが入部したのは体育会系の厳しい英語部だった。

赤ヘル、白ヘル、青ヘル、黒ヘル。下火になったとはいえ、まだまだ残る学生運動、度々のロックアウト、準部室としての和泉：喫茶ポニー／明林、お茶の水：喫茶丘、学食：おふくろ食堂。蔓延したのは金欠病。

全明コミ選総会は大空の下。新宿御苑キャンパスにて、清水委員長 - 金子副委員長へ。

そして大活躍の場へ……。

1年時：厳しいHMと夏合宿、レシテーション・デイス・ディベート・ドラマ・スピーチ

(1971) 全てを経験克服、秋口のセクション分け時の残留者 51 名。

2年時：エース3年生のサポート、新人1年生の教育、合間見つけて自己研鑽

(1972) 第 13 回 FUET “Sorry Wrong Number” 主演キャストにて活躍。

ベスト・イングリッシュ賞、個人賞 (本間潤子)
華のドラマ・スター 梅沢幾夫、遠藤昭信、本間潤子
麗しの短大 浅沼友子、大西美千代、高橋美喜子

FUET Sorry Wrong Number より

3年時：西に東に“お〜お明治”

(1973) ドラマ

第 14 回 FUET (Only A Game) 世田谷区民会館 舞台効果賞。

リハから本番まで全ての会話は英語 演劇の前に英語部。

「英語が出来ねばドラマはできず」梅沢チーフの原点。

デイス、ディベは大道具に小道具、音響に照明 全員参加の大会。

ディスカッション

2年ぶりの関西遠征、セクション・年代を超え選別されし精鋭 25 名。

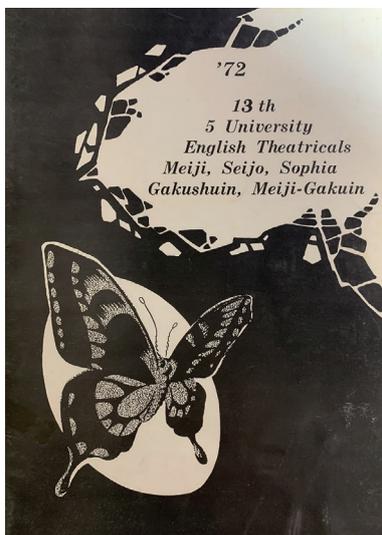
甲南女子大学は初見参。年末に思わぬ再会とは先読みの飯田チーフ。

同志社、関西学院を圧倒するも強豪関大との熾烈なる議論は記憶に残る。

(物価問題、ポスト・ベトナム) 宿舍 関西学院大学寮。

関西遠征

甲南女子大学にて、関学寮より出陣へ



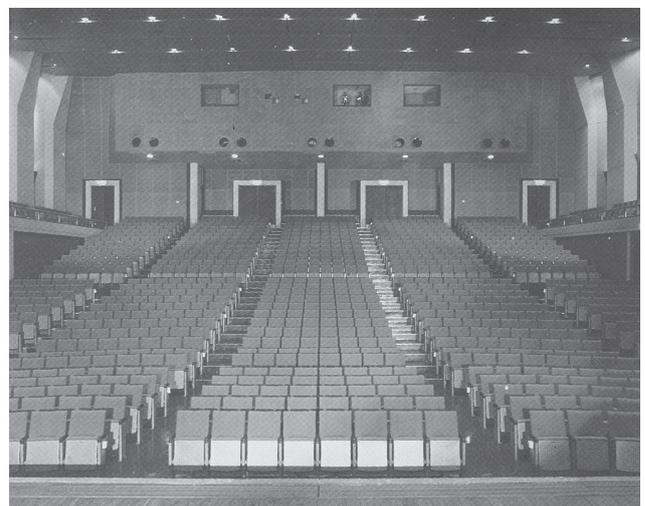
FUET パンフレット



関西遠征 (甲南女子大で)



FUET チケット



世田谷区民会館

鬼のディスカッサント

飯田和則、石井京子、板垣智子、折茂光、柑子山康弘、最首良枝、柴田三夫、志比英次、清水穰、竹市美枝子、谷村知彦、中沢勝幸、橋本学、広田詳子、星野政弘、渡辺正治

ディベート

春 同点優勝 KUEL の 5 人制 (小選挙区比例代表制) 早稲田との決勝、3 対 3 の同点優勝。ただカップは主審判定にて早稲田へ。

あと一歩はやはり英語力、この悔しさは半年後に……。

秋 全国優勝 内閣総理大臣杯 All Japan 全日本 5 人制 (核実験全面禁止)

和泉校舎に響く歓喜の校歌 “お～お明治”
初回大会で予選参加 87 校の頂点に！
決勝トーナメント 南山大学、高崎経済大学を撃破。
決勝は想定外の甲南女子大学なるもジャッジ判定 6 対 3 にての優勝。

相手も仲間も惑わせる直前のコンスト改善、常に前への山本チーフ。

先輩後輩同期、セクション超えての全明でのサポートに多謝感謝。

情けのディベーター

金子行男、甲斐康夫、柴田和人、菅井周二、浜田英二、古野隆司、宮野尾雄司、持永和明、山本家久、渡部真理
全日本大会より

4 年時：就職戦線へ ジャッジへ コンパへ カンパへ その為のバイトバイトへ

厳しくなる経済就職環境。鍛えに鍛えた 3 年間、強い明治の誇りで就職確保。

卒業：度重なるロックアウトは複数回の試験中止

レポート提出の恩恵へ。同じ回答書でも優から不可まで。未だに理由解明できず。

4 年間いた人、3 年間も活躍した人、2 年間でも頑張った人、みんな仲間です

そして いつまでも なかよし です！

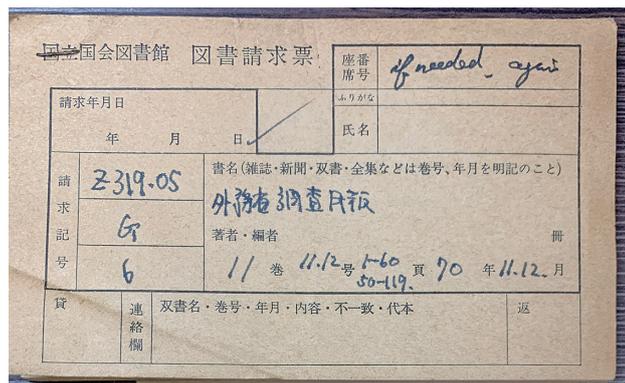
卒業式 日本武道館にて



第 1 回内閣総理大臣杯 All Japan 5 人制ディベートプログラム



卒業時



国会図書館の借出用紙



卒業時